

特集 海外進出支援企業

ベイコスメティックス

台湾を中心に、手続きから販路開拓、販促まで二気通貫で進出を支援

ベイコスメティックスは、化粧品メーカーの海外進出を支援する新プログラム「Bay Bridge Project」を今年6月に開始し、現在は台湾を中心に支援を行っている。台湾は日本との親和性が高く、国内で展開している販促やプロモーションの再現性も高いことから、海外進出の第一歩に適した市場と位置づけている。

同社の支援は、大きく3つの領域で構成される。まず、輸出に伴う各種手続きなど、複雑な手続が市場参入の大きな障壁となる。特に台湾では、今年7月からPIF（製品情報ファイル）の提出要件が厳格化されており、必要書類を適切に準備できなければ販売機会を逃す可能性がある。同社は、こうした実務面を支援し、円滑な市場参入を後押ししている。

さらに、現地販促パートナーとの連携も担う。商品が店頭で並ぶだけでは売上拡大につながらず、SNSマーケティングや広告展開などの販促活動が不可欠である。同社は、こうした実務面を支援し、販促まで一貫してサポートしている。

このように同社は、トナーとの連携も担う。商品が店頭で並ぶだけでは売上拡大につながらず、SNSマーケティングや広告展開などの販促活動が不可欠である。同社は、こうした実務面を支援し、販促まで一貫してサポートしている。

また、海外進出支援において最大の強みは、急変する現地の法規制に対する適応力だ。台湾で今年7月に完全施行されたPIF制度に

Swapps

現地市場を熟知し欧州規制への対応を支援、成分情報の管理にも配慮

Swapps（本社：フランス）は、幅広い業界の大企業から中小企業、公的機関の欧州進出を日本語で支援している。化粧品業界でも大手メーカーから中小企業まで幅広い企業と提携し、各種規制への対応を支援している。

化粧品業界でも大手メーカーから中小企業まで幅広い企業と提携し、各種規制への対応を支援している。また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

ホシケミカルズ

現地ニーズに即した処方提案を推進 複雑化するアジア各国の規制に対応



後藤氏

ホシケミカルズでは、海外事業部の受注が好調に推移している。コロナ直後の足踏み状態から回復を果たし、今回は前年を上回るペースで実績を伸ばしている。その牽引役となっているのが香港を中心とするアジアの現地企業だ。香港は周辺国への輸出ハブとして機能しており、勢いのある現地企業を經由して中国やASEANの各市場へ製品が供給されている。

受注の軸はスキンケアであり、とりわけ美白や水光肌を訴求する高機能美容液の引き合いが強い。同社は肌色の違いに応じた多色展開や速い開発サイクルが求められるメイク領域とは一線を画し、需要の大半を占めるスキンケア分野へ集中的にリソースを投じている。海外事業部の後藤健一郎氏は「海外では使った瞬間のトーンアップといった明確な即効性が求められ、PDRNやエクソソームなど医療に近い成分を高配合した処方の人気が高い」と明かす通り、高機能スキンケアの提案が伸びを支えている。海外進出支援における最大の強みは、急変する現地の法規制に対する適応力だ。台湾で今年7月に完全施行されたPIF制度に

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

NOVARCA

J-Beautyの包括的支援 「オールバウンド戦略」を拡充へ



演野氏

クロスボーダーマーケティング支援を展開するNOVARCAは、インバウンドを起点に海外での持続的なブランド成長を目指す「オールバウンド戦略」を推進する。自社で抱えるKOS（キー・オペレーション・セラー）ネットワークや、ソーシャルコマース、ライブコマースといったマーケティング基盤を活用し、J-Beautyブランドのグローバル成長を包括的に支援している。同社は特に、インフル

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

CIRS JAPAN

海外規制対応をワンストップ支援 成分規制データベースは多言語対応へ

中国・製品安全管理法（PLM）の施行により、化粧品大手のCIRSグループは、日本法人CIRS JAPANを軸に、日本企業の海外展開を総合的に支援する体制を本格化する。

CIRSグループは2007年の設立以降、中国をはじめ、米国、韓国など世界11カ所に現地法人を構え、50以上の国や地域で現地の言語と法規制に即したローカライズサービスを提供している。企業は現地拠点がなくとも、法的な要件を満たした上でスムーズな販路開拓に集中できる。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

日本製化粧品の成分チェック該当項目		
 防腐剤 27.5%	 最終製品制限 25%	 禁止成分 7.5%
 着色料 17.5%	 動物由来物質 7.5%	 ナノマテリアル 7.5%
出典：当社 2023-2024 年度 成分チェック実績（日本製化粧品）		

出典：当社 2023-2024 年度 成分チェック実績（日本製化粧品）

スもある。欧州進出では、まず成分規制への適合を確認することが重要だ。近年、グローバル市場では、成分チェックを無料で実施すると提案されることがある。一見魅力的に映るが、実際には成分の配合率の提出を求められる。一度提出すると情報流出し、同様の配合率で製品が開発されるリスクも否定できない。

また、海外の現地企業から継続的に受注を得ることで、各国の最新トレンドや規制動向をタイムリーに把握でき、顧客企業と結びつけることで販売拡大を後押ししている。

